

**認知症施策の実施状況について
(オレンジサポーター地域活動促進事業)**

〔公開資料〕

令和 4 年度 第 3 回大阪市地域包括支援センター運営協議会

令和4年12月14日

大阪市福祉局 高齢者施策部地域包括ケア推進課

オレンジサポーター地域活動促進事業の 進捗状況について



令和4年9月

福祉局高齢者施策部地域包括ケア推進課

オレンジサポーター地域活動促進事業の進捗状況について

【予 算：介護保険事業会計】

【事業開始：令和2年度（モデル事業：平成30年度・令和元年度）】

本市の認知症サポーターは令和3年度で23万6千人余となっている。

この認知症に対する正しい知識と理解を持った認知症サポーターの方が自主的に行ってきた活動をさらに一步前進させ、地域で暮らす認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズと認知症サポーターを結びつけるため、オレンジサポーターによるチーム活動を支援する取組みを令和2年度より実施している。

各区の認知症強化型地域包括支援センターに認知症地域支援コーディネーターを配置し、認知症サポーターにステップアップ研修の受講勧奨を行い、オレンジサポーターを養成するとともに、オレンジサポーターがチームとなって地域で活動できるようにするための立ち上げ支援・活動支援などを行う。

○ オレンジサポーターの養成



ステップアップ研修受講



認知症サポーター養成講座受講



地域住民

●ステップアップ研修（240分程度）

認知症サポーターがチームで活動するために必要な知識、対応スキル等を習得した人を養成。

【講座の内容】

- ・認知症の人への対応について（意思決定支援を含む）
- ・ちむオレンジサポーター活動の実践について など

●認知症サポーター養成講座（90分程度）

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする人を養成。

【講座の内容】

- ・認知症とは？治療について 予防について
- ・本人、家族の気持ちを知ろう など

オレンジサポーター養成実績 （単位：人）

年度	R2年度※	R3年度
養成数	63	262
累計	63	325

※国や府の研修が遅れたことで、ステップアップ研修の開催やオレンジサポーターの養成に影響が出ている。

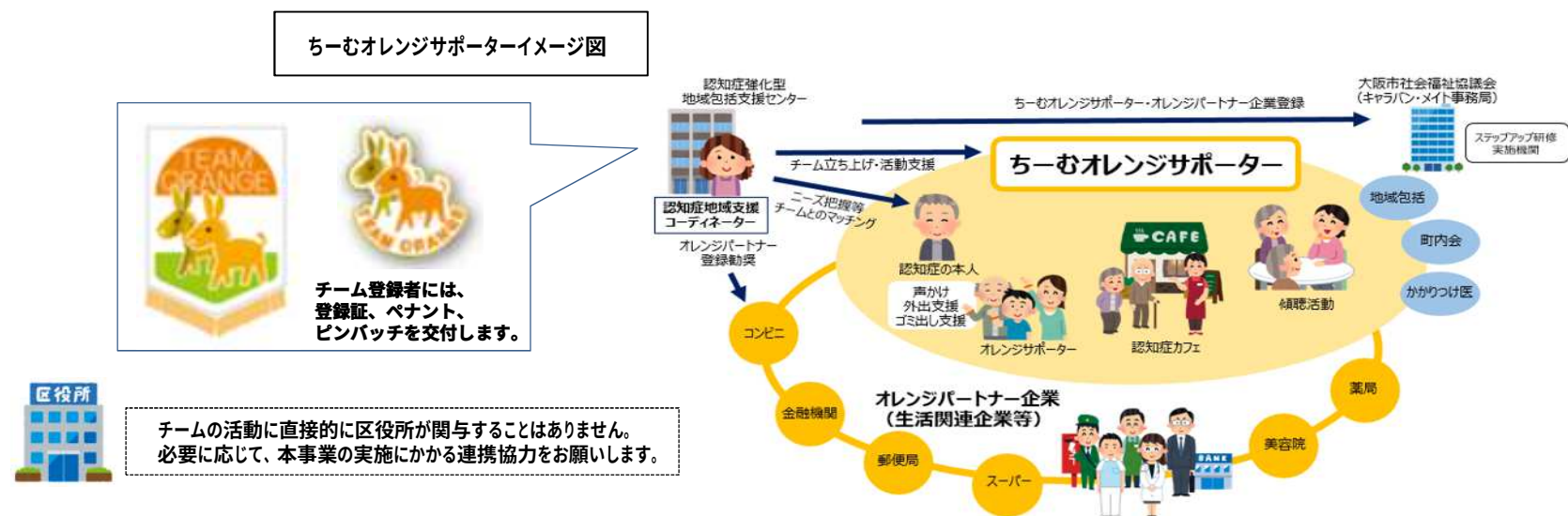
認知症サポーター養成実績 （単位：人）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
養成数	20,543	6,338	9,421
累計	220,688	227,026	236,447

オレンジサポーター地域活動促進事業の進捗状況について

○ オレンジサポーターの活動支援（ちーむオレンジサポーター）

- ・令和4年度9月現在、オレンジサポーターの養成は476人となっており、チームの登録も74チームとなっている。
- ・立ち上げたチーム活動のうち、体操・運動が24チームと最も多く、次いで認知症カフェが16チームとなっている。
- ・その他には、外出活動や農園活動など屋外での活動も多くなっており、区内のオレンジパートナー企業と協力してスタンプラリーを実施しているチームもある。



○ チーム活動支援（ちーむオレンジサポーター） 令和4年9月現在

・体操・運動（24チーム）



・認知症カフェ（16チーム）



・外出活動（6チーム）



・農園活動（4チーム）



・生活支援（11チーム）

・集いの場の提供（8チーム）

・創作活動（4チーム）

・家族会（1チーム）

オレンジサポーター地域活動促進事業の進捗状況について

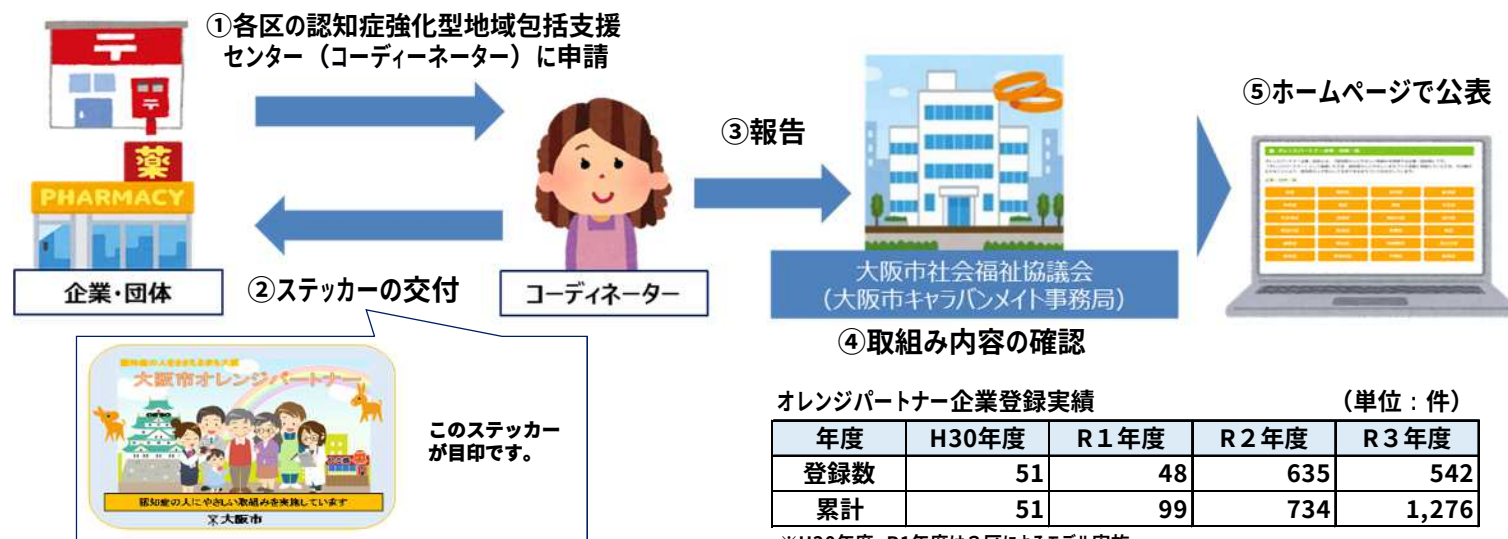
○ オレンジパートナー企業の普及

認知症の人等にやさしい取組みを行う企業・団体を「オレンジパートナー企業」として登録し、地域における認知症の人の支援活動を促進する。

オレンジパートナー企業の要件：認知症の人にやさしい取組みをしている企業・団体であること

具体的な取組例：企業内での認知症サポーター養成、ATMや窓口等での見守りや声かけ
相談機関との連携、定期的な家族相談会の開催 など

(登録までの流れ)



オレンジパートナー企業登録実績

(単位：件)

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
登録数	51	48	635	542
累計	51	99	734	1,276

※H30年度、R1年度は3区によるモデル実施

・オレンジパートナーの登録は順調に進み、令和4年9月現在で延1,366件となっている。登録企業・団体の内訳は郵便業が最も多く、次いで薬局や医療機関となっており、その他には、金融業、小売業など幅広い企業・団体が登録している。